

こんにちは No.2 2022年 10月

名張市議会 日本共産党議員団です



三原じゅん子

すずらん台西4-202
☎0595-68-3552

三原じゅん子 名張 (HP)

E-mail : junko.mihara@asint.jp

藤川よしひろ

富貴ヶ丘3-28
☎090-1753-0491

https://www.facebook.com/y.fujikawa.nabari

E-mail : yoshi.fujikawa10@gmail.com

生活相談はいつでもどうぞ

9月議会報告

名張市2021年(令和3年)度の決算は

12億円の大黒字!!

これまでの名張市決算でこれだけの黒字決算はありません。

●こうして黒字になりました

市税収入、地方交付税ともに
中期財政見通しより
多く入りました。
新型コロナウイルスの
感染症対策地方創生臨時交付金
5億6,103万円余も
入りました。

コロナ感染拡大により
三重とわか国体は
中止となり、
予算化していた運営経費は
使われず
1億6700万円余が
一般財源と
なりました。



●財政調整基金も貯まりました

令和3年度決算で財政調整基金は

12億6千万円まで貯まりました。

中期財政計画では、財政調整基金は令和5年度までに6億9400万円貯めることで、

令和6年度から増税なしで財政運営ができる
としています。

●固定資産税の増税(都市振興税)は 財源不足時だけのはず

2021年(令和3年)度1月25日発行の広報なばりで、
都市振興税は「多額の財源不足が生じる時だけ市民への
増税負担をお願いするものです」と答えています。

**令和3年度は多額の財源不足にはなって
いません。**

●もう無理です！市民の負担増！

国保税・介護保険料 引き上げ

- 国民健康保険税は令和2年度から引き上げとなりました。令和2年度、3年度共に黒字決算で、基金は2億5千万円貯まりました。
- 介護保険も令和2年度から引き上げられ、令和3年度決算で基金は8億円になりました。

後期高齢者医療保険負担額 引き上げ

- 後期高齢者医療は今年10月から200万円以上の年取の方は、窓口負担が2割に引き上げられます。3年間の配慮措置がありますが、厚生労働省の試算では外来だけで一人あたり年平均2万2千円負担が増え、入院を含めた負担合計は年平均10万9千円になるとしています。コロナ禍の中で高齢者に医療負担増を強いるのは生存権をも脅かします。

市民生活を助ける施策がない

- 他の自治体では、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用し、水道料の減免、学校給食費の無償化など市民生活を助ける施策が行われていますが、名張市にはありません。



20年に及ぶ財政非常事態宣言のもと、ごみ袋の有料化や様々な補助金の打ち切りなど、市民のみなさんの負担は増えています。食費・光熱費と物価が毎月のように高騰する一方、給料は上がり年金は下げられ、全世代ともに生活は苦しくなるばかり。市民の生活を助けることこそが必要です。

「物価高騰から市民の生活を守り支える政策実施を求める申し入れ」を行いました



名張市独自課税

固定資産税増税の延長期限は2023年(令和5年)度まで。

あと一年残っていますが、

前倒しで廃止することを求めます



子ども達の未来と名張市の発展に繋がる 直営自校方式での中学校給食の早期実施を!!



名張市は「中学校昼食あり方検討委員会」から提出された意見書を受けて中学校給食の導入を決定し、実施方式はPFI手法によるセンター方式が望ましいとしています。しかし、意見書には「中学校給食の導入が望ましい」との結論が書かれていますが、方式については「他の自治体の状況も十分に検証し、食育の推進も意識した方式を決定して行くべき」との意見に留めています。

他の自治体では、検討委員会を設置するなど詳細な検討を行っておりますが、名張市には方式を決定するにあたり議論した会議録も検討報告書なども残されていません。どのように検討・検証してセンター方式での導入が望ましいとしたのですか？

和5年に予定している民間活力導入可能性調査（民間委託）にて各方式のメリット・デメリット、運用面や財政負担の検討を行い、名張市に適した方式を決定する予定です。



名張市に適した方式は、市民の声を聞いて市が責任をもって決定する事であり、費用を掛けて民間に任せるべきではありません。なにより学校給食は「食育の推進」を目的として、子ども達のために実施するものです。自校方式は食育に最も適して、子ども達の教育を大切にするまちとして名張市のPRにもなります。仕事と安定した雇用を創出して若者の定着を促進し、地産地消、農業の振興にも繋がります。掛かる費用はその為の投資です。PFI方式を導入している伊賀市の事例を見れば、導入可能性調査やアドバイザー業務委託に1年～2年かかり、多額の費用（約2000万円）も発生しています。

若者定住、子育て応援と子どもたちの健全な育ちを保障するためにも早期実現が求められていますが、令和3年度も進展はないままで、令和9年度実施予定と先延ばしばかりです。「遅すぎる。20年間も検討して一体何をしていたのか。」と市民から問われています。

方給食の式

自校方式

▶ 各学校に調理場を設置する方法。現在市内小学校で実施中

センターPFI方式

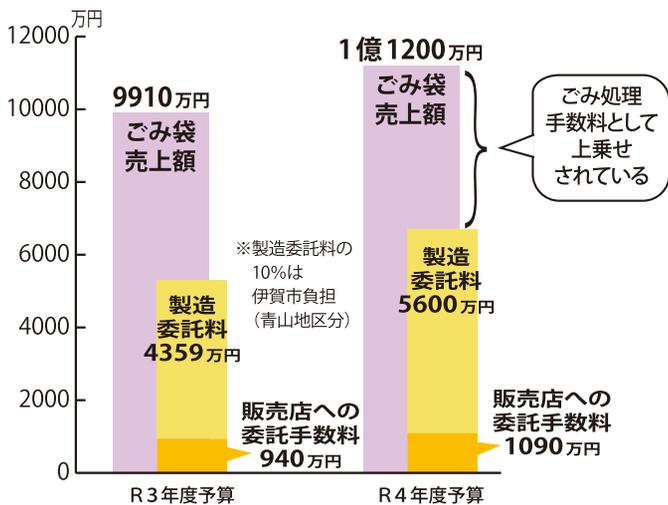
▶ 1か所の給食センターを、設計から建設・維持管理及び運営を民間に委託

市のA

市はセンター方式の導入を望ましいとしているが、ベターであってベストではありません。これまでの検討には甘い部分もあったと認識しているので、令

問題あり! 名張市ごみ袋

■名張市のごみ袋売上金と委託料



- ・名張市では、指定ごみ袋の製造事業者は入札制度により委託契約しています。
- ・製造、保管、販売店からの注文受付、配送までの業務を包括した委託契約です。
- ・販売店には取扱委託料を支払っています。

無駄!

●わざわざ5千万円もかけ税金でごみ袋を製造

●1千万円もの販売委託手数料を支出

不相当!

●製造・販売コストにさらに上乗せされた、高いごみ袋を市民に販売

●製造・販売を1社に限定してしまうためトラブルが起ると欠品してしまう

●約4千万円の売上を伊賀南部環境生組合の運営費の一部にしている

クリーンセンターの建設時の起債償還も2023年には終わり、名張市からの運営にかかる分担金額は約2億円減る見込みです。

名張市指定ごみ袋が欠品

今年度の指定ごみ袋は(株)G-Place(大阪支店)が受注し、大分県の工場で製造をしています。コロナ感染拡大等の影響により生産効率が低下、製造工程に遅れが生じ、市内販売店への納品が遅れました。

■県内のごみ袋価格の比較

| | 名張市 | 伊賀市 | 津市 | 鈴鹿市 | 松阪市 |
|-----|-----|-----|----|-----|-----|
| 45ℓ | 48円 | 35円 | 0円 | 18円 | 16円 |
| 30ℓ | 30円 | 25円 | 0円 | | |
| 20ℓ | 18円 | 15円 | 0円 | | |
| 10ℓ | 8円 | 8円 | 0円 | | |

名張市のごみ袋の価格は委託料に上乗せした金額

伊賀市も上乗せだが名張市より安い

指定ごみ袋はない

指定ごみ袋だが複数の業者がそれぞれの裁量で製造・販売市の支出はなし

高いごみ袋価格の引き下げを!

